

よもう！あそぼう！かがくの本 研修会&スペシャル回についての報告

2022.12 東久留米市立中央図書館

<よもう！あそぼう！かがくの本 研修会>

子どもの読書や科学の本に関心を持つ方々に向けた研修会を開催しました。

8月に行う「よもう！あそぼう！かがくの本 スペシャル」に向けて、絵本作家のやべみつのり氏をお迎えし、やべ氏が絵を担当した『つくってみよう かみがくるくる』（玉田泰太郎・やべみつのり／作、童心社）について、著者の考えや参加者の意見を加えた新たなプログラム内容について検討しました。

【日時】2022年5月28日(土)14時～16時

【参加者】18人(科学の本の読み聞かせの会「ほんとはんと」会員、子ども読書応援団、図書館職員)

【内容】

① 本の内容にそったよもあそプログラムの実演と体験

- ・葉がひらひらと落ちるさまを観察する
- ・型紙に沿って紙を切り、上から落としていたり、プロペラのようにクルクル回る様子を観察する
- ・折り方や材質を変え、その落ち方の変化と違いを確かめる
- ・読み聞かせ『つくってみよう かみがくるくる』玉田 泰太郎・やべ みつのり／作、童心社
- ・紹介した本

『びゅんびゅんごまがまわったら』宮川 ひろ／作、林 明子／絵、童心社

『風車がまわった！』深井 せつ子／文・絵、福音館書店

『たねがとぶ』甲斐 信枝／作、森田 竜義／監修、福音館書店

『力の事典 動きのひみつをさぐる』大井 喜久夫ほか／文、黒須 高嶺／絵、岩崎書店

『かぜにおされる くうきのふしぎ』ヴィッキー・カップ／著、ジュリア・ゴートン／絵

伊藤 信夫／訳、あづき

② やべ氏からの提案と新たなプログラムの検討

- ・演示者と参加者が、実際にプログラムを体験してみた感想を述べたり、意見交換を行った。
- ・やべ氏にも感想やプログラム内容について意見を頂いた。
- ・やべ氏から、かみをくるくるさせることに関連するご自身の工作(コマ、錯視、アニメーション等)や著者本が紹介された。また、やべ氏が行ってきた子どもたちとの交流として、過去の子どもの作品の紹介やラオスやアフガニスタンでの活動の様子が語られた。



作品を紹介するやべ氏



童心にかえて実験する参加者

<よもう！あそぼう！かがくの本 スペシャル>

『つくってみよう かみがくるくる』の著者のおひとりであるやべみつのり氏を迎えて、5月に開催した「よもう！あそぼう！かがくの本 研修会」をもとに作成した新しいプログラムで、子ども向けに行いました。通常60分で行われるよもあそプログラムに、やべ氏と子どもたちの交流時間として30分増やしたことで、工作やおもちゃでたくさん楽しむことができました。

「くるくる」をキーワードに、回転運動とアニメーションの原初的仕組みを工作で楽しむという、やべ氏の2冊の著書をつなぐワークとなりました。

【日時】2022年8月20日(土)10時半～12時

【参加者】子ども12名 大人8名 合計20名

【内容】

① 「くるくる」まわるとはということかの実験や工作(新プログラム)

- ・本にある紙を上の方から落としてみて、くるくる回る様子を観察
- ・読み聞かせ『つくってみよう かみがくるくる』玉田泰太郎・やべみつのり/作、童心社
- ・やべ氏考案の紙皿コマの工作と実験
紙皿に好きな絵を描き、裏側に石膏で作った半球を貼り付けて軸とする
- ・紹介した本
『独楽』安藤 正樹/文、全日本独楽回しの会/監修、文溪堂
『たねがとぶ』甲斐 信枝/作、森田 竜義/監修、福音館書店
『かざぐるまのくに』百木 一郎/構成・文、永田 智子/絵、
津久井 康弘/デザイン、福音館書店
『ふたごのまるまるちゃん』犬飼 由美恵/文、やべ みつのり/絵、教育画劇
『ぼくにも作れるアニメーション』やべ みつのり/作・絵、童心社

② やべ氏考案の工作とあそび体験

- ・『ぼくにも作れるアニメーション』(やべ みつのり/作・絵、童心社)の中から、簡単なアニメーション「くるくるアニメ」の工作
- ・やべ氏が持参した作品について説明を交えながら実演
- ・やべ氏との交流時間中は作品を手にとって一緒に遊んでみたりと、子どもたちが自由に楽しむ様子が見られた。



北開架室での「よもあそ」の様子



やべ氏と遊ぶ子どもたち